

第6学年 国語科学習指導案

日時 令和7年11月19日(水) 6校時

児童 6年1組 23名

授業者 佐藤 裕子

1 単元名 筆者の考えを読み取り、テーマについて考えを述べ合おう

2 学習材名 「考える」とは

考えることとなやむこと/考えることを考え続ける/考える人の行動が世界を変える(光村図書6年)

3 単元の見目標

(1) 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。 [知識及び技能] (1)カ

(2) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。

[思考力、判断力、表現力等] C(1)オ

(3) 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。

[思考力、判断力、表現力等] C(1)カ

(4) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力、人間性等]

4 単元について

(1) 子どもの実態

「笑うから楽しい/時計の時間と心の時間」では、筆者の主張とそれを支える事例を捉え、自分の知識の経験と関連させながら読んだ。また、「インターネットでニュースを読もう」では、情報源を確かめ、複数の情報を組み合わせて考える学習を行った。「『鳥獣戯画』をよむ」では、筆者の考え方や資料や言葉の使い方の工夫を捉えた。子ども達は、筆者の主張や事例を捉えるなど既習事項に着目しながら、自分なりに表現することはできる。しかし、考えを形成することで満足し、友達と意見や感想を共有し、自分の考えを広げることについては、まだ不十分である。

(2) 学習材について

本教材は、「考える」ということをテーマにして、異なる立場の筆者が考えを述べている。一つのテーマに対して、賛成と反対の立場から論を展開しているものではなく、筆者それぞれの立場にふさわしい着眼点から考えがまとめられている。単元の言語活動を通して、多面的な思考を促していくことのできる教材である。

(3) 指導にあたって

単元に位置付ける言語活動

複数の文章を読み、考えたことを伝え合う。

[思考力、判断力、表現力等] C(2)ア

3つの説明文の構成を捉え、主張を読み取る必要がある。そして、自分の考えをもつためには、自分の経験と結び付けて考える必要がある。その際、複数の説明文の共通点や相違点を整理することにより、共通のテーマを読み取ることができると考える。

今までの説明文の学習では、6時間程度で一つの説明文を読み取ってきた。今回は、読み取りに時間をかけられないため、6年生の学びのまとめとして今までの読みの力が発揮できるように掲示物などにより視覚的な支援もしていきたい。

① 手立て1 目的をもって学びに向かう工夫

ア 学習のゴールを見通すことができるようにするために、単元導入時に3人の筆者の題名を比較したり感想を交流したりする。また、学習のゴールを児童の言葉から引き出すようにする。

イ 学びの達成感につながるができるようにするために、単元開始時と終末時の感想を比較したり、教師が子どもの振り返りを価値付けたりする。

② 手立て2 言語活動の質を高める工夫

ア 自分の考えを形成するために、特に印象に残ったこととその理由、自分の知識や経験と比べて気付いたことなどの要素に着目し、子ども達が選択しながら、考えをまとめることができるようにする。

イ 筆者毎に色分けをした学習シート(ロイロノート)を用いることで、自分の考えを広げていけるようにする。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ	① 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ ② 「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ	① 粘り強く文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。

6 単元の指導計画（全6時間扱い）

次	時	学習活動	◆研究に係わる手立て ・指導上の留意点	【評価】〔評価方法〕
とらえよう	1 本 時	○ 「考える」とは何かを考える。 ○ 教材文を読み、「問いをもと」「目標」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> 教材文を読む前に、一度、「考える」とは何かを考えておくことで、単元終了後に考えが広がることを実感できるようにする。 ◆ 学習のゴールを見通すことができるようにするために、単元導入時に3人の筆者の題名を比較したり感想を交流したりする。また、学習のゴールを児童の言葉から引き出すようにする。(手立て1) 	<ul style="list-style-type: none"> 教材文を読んで抱いた「問い」を基に学習のゴールを設定し、学習計画を立てようとしているか確認する。
ふかめよう・まとめよう	2 3 4 5	<p>2 ○ それぞれの文章で筆者が最も伝えたいことを考える。</p> <p>3 ○ 筆者がどのように自分の考えを伝えようとしているのか、文章の特徴を明らかにする。</p> <p>4 ○ 3つの文章を読んで考えたことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P65「主張と事例」の学習を振り返り、それぞれの筆者の主張を捉えることができるようにする。 ◆ 学びの達成感につながることをできるようにするために、教師が子どもの振り返りを価値付ける。(手立て1) 何度も出てくる言葉や取り上げられている事例などに着目し、筆者の書き方の特徴が表れる表現を見付けることができるようにする。 ◆ 自分の考えを形成するために、特に印象に残ったこととその理由、自分の知識や経験と比べて気付いたことなどの要素に着目し、子ども達が選択しながら、考えをまとめることができるようにする。(手立て2) 筆者毎に色分けをした学習シート(ロイロノート)を用いる。 	<p>【知識①】筆者がどのように自分の考えを伝えようとしているか、文章の特徴について理解しているか確認する。 〔記述・発言〕</p> <p>【思考①】筆者の主張と自分の知識や経験と比べたり、文章を読んで得た視点やものの見方を踏まえたりしながら、考えたことをまとめているか確認する。〔記述〕</p>
ひろげよう	6	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを伝え合い、考えを広げたり深めたりする。 学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 筆者毎に色分けをした学習シート(ロイロノート)を用いることで、自分の考えを広げていけるようにする。(手立て2) 自分の考えを深めるために、言葉の量を制限し、自然に質問できるようにする。 単元の学びを振り返るとともに、身に付けた力を押さえ、メタ認知できるようにする。 ◆ 単元開始時の感想と比較することで、学びの達成感をもつことができるようにする。(手立て1) 	<p>【思考②】友達と考えを伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりしているか確認する。 〔記述・観察〕</p> <p>【態度①】自分の考えをまとめ単元のゴール『自分の「考える」を伝え合う』に沿って伝え合おうとしているか確認する。 〔記述・観察〕</p>
時間外		<ul style="list-style-type: none"> 並行読書 2組と交流 		

7 本時の指導

(1) 目標

教材文を読んで抱いた「問い」を基に学習のゴールを設定し、学習計画を立てることができる。

(2) 本時の評価規準

教材文を読んで抱いた「問い」を基に学習のゴールを設定し、学習計画を立てている。

【主体的に学習に取り組む態度①】

具体的な子どもの姿	Bに至らせるための支援
教材文を読んで抱いた「問い」を基に学習のゴールを設定し、学習計画を立てようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 内容面や対象などを考えることができるように、これまでに説明文で学んできた事柄を振り返り、ゴールのイメージをもつことができるようにする。
授業での姿 自分の経験とつなげると考えをまとめられそう。	

(3) 展開

	学習活動 ・ 子どもの反応	◆研究に係わる手立て ・指導上の留意点 評価 [評価方法]
導入 5分	1 3つの説明文の筆者や題名について比較する。 ・ 3つとも題名に「考える」とある。 2 「考える」とは何か考える。	<ul style="list-style-type: none"> 筆者について興味をもてるように、簡単にプロフィールを紹介する。その後、題名を提示し、共通点から「考える」というキーワードに気付くようにしたい。 テキストマイニングを使い、子ども達の「考える」を整理する。
展開 35分	3 学習課題を確かめる。 自分たちで学習のゴールを設定し、計画を立てよう 4 3つの教材文を各自で読み、最も印象に残ったのは、どの文章か考える。 ・ ぼくは、「考えることとなやむこと」が気になりました。わけは、「それは、考えているだけだよ。悩んでいるだけだね。」の文章が印象に残ったからです。 5 交流する友達を選び、自分の感想を伝える。 6 学習のゴールを設定する。 「考える」ことについてまとめ、2組のみなどと交流会をしよう。 7 単元の目標を基に、学習計画を立てる。 ① 学習のゴール ・ 学習用端末で自分の『「考える」とは』を表現したい。主張なども入れないと。 ・ これまでも、学習用端末でまとめた。今度は、誰に伝えようか。 ② 計画 ・ すぐに書けないから、文章を詳しく読みたい。筆者の考え（主張）とか。	<ul style="list-style-type: none"> 考えをもつことができない児童には、気になった言葉を聞き出したり、友達の考えを参考にしたりしてもよいと伝える。 ロイロノートを使い、選んだ文章を色分けすることで自分や友達の考えがはっきりできるようにする。 子どもから出てきた言葉を生かしながら、選択肢を用意しておく。 <p>◆ 学習のゴールを見通すことができるようにするために、単元導入時に3人の筆者の題名を比較したり感想を交流したりする。また、学習のゴールを児童の言葉から引き出すようにする。 (手立て1)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】[発言・記述]</p>
終末 5分	8 学習の振り返りをする。 ・ 自分の考えをどのようにまとめようかな。 ・ 筆者の考えとか事例について、見付けないと。	<p>◆ 達成感をもつことができるようにするために、子どもの学習でのつぶやきや振り返りの言葉を価値付ける。(手立て1)</p>

〔期待する振り返りの例〕

- 自分の考えを書くのだから、文章の構成に自分の主張を入れなければならないな。
- 友達は、どのようにまとめるのだろう。聞いてみたい。